

交野市教委ニュース

第125号（令和2年2月26日発行）

令和元年度 交野小学校6年生 卒業の取組み

マイバッグキャンペーン

2月17日（月）、イズミヤ交野店にて、交野小学校6年生による卒業に向けての取組みの一つとして『マイバッグキャンペーン』が行われました。

交野小学校では、例年、卒業していく6年生が卒業制作に取り組み、制作物を学校に寄贈していましたが、今年度は、小中一貫校建設の計画を踏まえ、形として残す卒業制作ではなく、卒業に向けての取組みを行うことになりました。

卒業に向けての取組みの一つ、『マイバッグキャンペーン』は、不用意にポイ捨てされたレジ袋やペットボトルなどのプラスチックが、細分化されながら河川などを通じて海へ流れ込み、海洋生物の汚染等、生態系に与える影響が地球規模での環境課題となる中、交野市が行っている対策の取組みである、レジ袋削減の啓発活動「マイバッグキャンペーン」の一貫としておこなうものです。



交野小学校6年生児童は、寒空の下、買い物に来られた方に声をかけ、交野市オリジナルマイバッグを配布して買い物にはマイバッグを活用することを啓発するとともに、環境省が提唱する国民運動である「COOL CHOICE」の賛同を求めました。この日の活動で配布したマイバッグは、約80枚。参加した児童は、この活動を通じて、“市民一人ひとりが輝く「みんなのかたの」は美しく・やさしく・たのしい環境のまち”の実現に貢献することができ、達成感を味わうことができたようでした。

卒業の取組みは、この他に…

- 『未来へつなぐ環境づくり』啓発ポスター：「COOL CHOICE」ポスター作成、市内掲示
- 『COOL CHOICE』賛同アンケートの呼びかけ：校内での「COOL CHOICE」賛同の依頼活動
- 物を大切に使おう！ソーイング・洗濯部隊：家庭科で学習したソーイングや洗濯の技術を校内の布製品の修繕・洗濯にいかす

といった活動が行われています。近年、よく聞かれる「2030年までに達成すべき持続可能な開発目標（Sustainable Development Goals: ^{エス・ディー・ジー・ス}SDGs）」をナビに、2030年、社会の主演となっている6年生が持続可能な世界を創るための一步を踏み出しました。

(UNICEF HP より)

